

テストの概要：TKTは自分のペースで受験準備できるモジュール制

モジュール	英語の学習と指導に関する言語知識・背景	80分 80問	マーク式
基本 モジュール	モジュール1 優れた指導テクニックに必要な知識、学習者の習得過程、言語理解など	80分 80問	マーク式
	モジュール2 指導案作成と英語教授のための教材活用法 指導案作成に必要な教員の知識やスキル、その指針となる評価や教材等	80分 80問	マーク式
	モジュール3 授業マネジメント 英語授業をする際に教師として留意すべき授業マネジメントの知識	80分 80問	マーク式
専門 モジュール	TKT: CLIL 学習者の母語ではない言語を介して教科を教える「CLIL: Content and Language Integrated Learning (内容言語統合型学習)」用テスト	80分 80問	マーク式
	TKT: YL 幼児～小学生(Young Learners)に英語を教えるのに必要な方法やスキルに関する知識を測るテスト。小学校英語の指導者に最適。	80分 80問	マーク式

TKT 活用例 タイ、ベトナム、ポルトガル、チリ、メキシコ、コロンビア等、多くの教育省が**教員採用や研修のベンチマーク**に導入。その他、英語教授法の学位コースにTKTを活用する事例もある。(アルゼンチン、ブラジル、台湾など)

【ご参考】TKTモジュール1,2,3公式ハンドブック*にある出題例

モジュール1：言語知識と背景		モジュール2：指導案作成と教材活用法		モジュール3：授業マネジメント	
問	内容	問	内容	問	内容
1～5	文法用語の知識①	1～7	アクティビティと指導上の狙い	1～7	授業で用いる教師言語とその機能
6～10	文法用語の知識②	8～14	指示文とアクティビティの狙い	8～16	授業で用いる頻出表現
11～16	文法用語の知識③	15～20	苦情を扱うアクティビティの狙い	17～21	初級成人学習者に用いる教師言語
17～21	発話機能の分類	21～29	授業計画に関する用語	22～27	指導に生徒の母語を使う目的
22～29	発音	30～36	授業計画(読解スキル)	28～32	上級学習者の発言意図、理解
30～35	ライティングの種類	37～41	状況に応じた評価理由	33～40	文法上の誤りに関する分類
36～40	言語スキルに関する知識	42～49	語彙に関する本の構成	41～49	教師の役割と教師アクティビティ
41～46	学習意欲を高めるテクニック	50～56	辞書にある情報の活用	50～55	生徒のグループ分けのコツ
47～53	学習者の選好の類型化	57～64	トピック別書籍の活用	56～63	グループ及びペアワークの問題点解決
54～59	学習者の学習戦略	65～72	教科書演習と教材	64～70	クラス状況に応じた教師対応のコツ
60～66	教授法の理解	73～80	教材の種類と特徴	71～75	生徒の誤りを訂正する方法
67～73	発話練習のタイプ			76～80	フィードバックと狙い(書くスキル)
74～80	アクティビティをタスク別に分類				

*公式ハンドブックやサンプル問題はwww.cambridgeenglish.org/teaching-english/teaching-qualifications/tkt/prepare-for-tkt/よりダウンロードできます。

受験準備に 役立つ情報 (無料)	①TKT 情報(日本語)は www.cambridgeenglish.org/jp/teaching-english/teaching-qualifications/ をご覧ください。
	②TKT ハンドブックや練習問題、TKT Glossary(用語集)など、受験準備に役立つ情報(英語)は、 www.cambridgeenglish.org/teaching-english/teaching-qualifications/tkt/prepare-for-tkt/ からダウンロード可能。
(有料)	③コースブック: "The TKT Course Modules 1, 2 and 3 Second edition" (ケンブリッジ大学出版局) ISBN 9780521125659 ¥3200 税別 モジュール1,2,3を網羅したコースブック

【お問い合わせ】TKT 試験センター、もしくはCambridge University Press & Assessment アセスメントチーム japanexams@cambridge.org まで

Cambridge University Press & Assessment について
英国ケンブリッジ大学の一部門である非営利組織で、出版・試験・国際教育等の部門により構成されています。試験部門は主に英語の学習や指導に関して、世界をリードするさまざまな資格認定サービスを提供しており、受験者数は世界130カ国で年間550万人に上り、大学・企業・省庁など25,000を超える世界中の機関が英語力の証明に私たちの資格試験を活用しています。

英語教授知識認定テスト(TKT:Teaching Knowledge Test)
 ～英語教授法の知識を測る国際基準の認定テスト～

TKTとは？

英語教師に求められる言語・教授法の基礎知識を網羅した、ケンブリッジが開発したテストです。TESOL(英語を母国語としない人に対する英語教授法を専門的に学ぶ学問分野)の基礎を学びます。受験準備を通じて、英語教師としての自信とスキルが身に付きます。

なぜ、いま TKTが必要なのか？

生徒の英語力向上のカギとなる教員の指導力の向上に注目が集まっています。日本でも CEFR¹(ヨーロッパ言語共通参照枠)や Can-Do リストなどが英語教育現場に紹介され、国際的な尺度や指標を身近に感じるようになってきました。TKT は、自分の経験に対する公式な評価を得るため、国際的に認知された資格取得を希望する世界中の先生方の要望に応じて開発された世界基準の認定テストです。

TKT(モジュール1,2,3)の対象は？

- ・小、中、高、大、成人学習者など、あらゆる教育レベルで指導されている英語の教員の方
- ・経験はあるが、正式なトレーニングを受けたことがない教員の方
- ・英語教育に関する知識を復習したい教員の方
- ・経験が少ない教員の方、または全くないが将来教員を目指したい方

受験者にとってTKTのメリットは？

- ・持っている知識を確認、更新、深めることができる
- ・自信とモチベーションを高めることができる
- ・世界基準の資格を通じて、英語教師としてファースト・クラスのキャリア・パスを築く基礎ができる
- ・授業の助けとなる、授業の幅が広がる
- ・英語で英語教授知識を学習するため、英語で授業を行う準備、練習ができる
- ・英語で英語教授知識を学習するため、ALTと知識共有が容易となり、授業の準備・実施がより効果的に行える

TKT の特徴

歴史	世界的なニーズにより開発、世界の1,500名以上の英語教師の方によるトライアルを経て2005年スタート
取得メリット	英語教員採用や研修対象者選定時のベンチマークとして海外で活用。国際的に認知された資格。より専門性の高いCELTAやDelta等のTESOL資格への導入として最適
作成意図	すべての英語教師に求められる基礎的な知識に焦点を当てた世界基準の認定テスト。国際的に通用する教師としての自信と知識の醸成を狙いとするテスト
テスト結果(評価)	合格・不合格の判定ではなく、各モジュールの成績が4段階評価のバンド・スコアで報告される。 バンド1(limited:限られた知識)からバンド4(extensive:広範な知識)で評価されるテスト
受験対象者	英語が母語でない人および英語ネイティブ・スピーカー
英語能力	CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)のB1レベル相当以上

¹Common European Framework of Reference for Languages のこと。
言語運用レベルの基準として2001年に欧州評議会により開発され、その際弊機関ではさまざまな支援を行った。弊機関が創設メンバーであるALTE(Association of Language Testers of Europe:ヨーロッパ言語テスト協会)の「Can Do ステートメント」と共に、現在は欧州のみならず世界各国で利用されている。

TKT (英語教授知識認定テスト) の準備をするには... Preparation のページをクリック!

TKT Teaching Knowledge Test

Teaching qualifications and courses

TKT

About the tests

Preparation

Results



Prove your teaching knowledge with this series of flexible tests

Preparation (受験準備) のページへのアクセスはこちらから	https://www.cambridgeenglish.org/teaching-english/teaching-qualifications/tkt/prepare-for-tkt/	
TKT モジュール3のサンプル問題・解答付 (Zip ファイル) へのアクセスはこちらから	https://www.cambridgeenglish.org/Images/539276-tkt-module-3-sample-paper-and-answer-key.zip	

TKT モジュール3の問題とは? 例題 (サンプル問題 7~13 問) をご覧ください

<p>3</p> <p>For questions 7 – 13, match the following examples of a teacher's language used with a class of elementary learners with a trainer's comments listed A – H.</p> <p>Mark the correct letter (A – H) on your answer sheet.</p> <p>There is one extra option which you do not need to use.</p> <p>Teacher's language</p> <p>7 Ana, Lucie, please stop talking. Ok, everyone, please give me all your attention now!</p> <p>8 Oh look, class. Can you see the rainbow? Isn't it beautiful?</p> <p>9 Paolo, can you explain to us all what a fridge is?</p> <p>10 We need to get rid of two things from this list. Which would you eliminate, An-Ju?</p> <p>11 You don't seem to be trying very hard with your writing today. Let's practise our song instead.</p> <p>12 You're doing well. But let's see which pair is the first to label all the pictures.</p> <p>13 My other class did much better in the progress test.</p> <p>Trainer's comments</p> <p>A It's better not to nominate at the beginning of a question so all the learners pay attention.</p> <p>B You should try to give formative feedback.</p> <p>C Ringing a bell or clapping your hands can be a good way to make the class listen.</p> <p>D I like the way you encouraged the learners to try harder.</p> <p>E It's a good idea to use what's happening around you to teach some new vocabulary.</p> <p>F Your instructions were not always given in the most logical order.</p> <p>G It was sensible to change task in the circumstances.</p> <p>H Make sure you keep the lexis in your instructions at an appropriate level.</p>	<p>(翻訳) 実際の試験問題は英語で出題されます</p> <p>質問7~13について、初級学習者のクラスで使われる教師の言葉遣いの例と、それに合致するトレーナーのコメントをA~Hの中から選び、答えなさい。</p> <p>解答用紙に正しい文字 (A~H) をマークしてください。</p> <p>使用する必要のない選択肢が1つありますので、注意してお答えください。</p> <p>教師用言語</p> <p>7 アナ、ルーシー、話をやめて。皆さん、私に注目してください。</p> <p>8 あ、見てください。虹のきれいな。虹が見える? きれいでしょう?</p> <p>9 パオロ、冷蔵庫とは何か、みんなに説明してくれる?</p> <p>10 このリストから2つのものを取り除く必要があります。An-Juさんなら、どちらを消しますか?</p> <p>11 今日は一生懸命に書いていないようですね。代わりに歌の練習をしましょう。</p> <p>12 上手にできましたね。でも、どのペアが最初にすべての絵にラベルを貼ることができるか見てみましょう。</p> <p>13 他のクラスはプログレステストでもっと良い結果を出していました。</p> <p>トレーナーのコメント</p> <p>A 質問の最初に指名しない方が、学習者全員が注目します。</p> <p>B 形成的なフィードバックをするよう心がけるべきでしょう。</p> <p>C ベルを鳴らしたり、手をたたいたりするのも、クラスに耳を傾けさせる良い方法です。</p> <p>D 学習者に「もっと頑張れ」と励ましたのがよかったです。</p> <p>E 身の回りで起こっていることを利用して、新しい語彙を教えるのは良いアイデアです。</p> <p>F あなたの指示は、必ずしも論理的な順序でなされたわけではありません。</p> <p>G この状況下で、タスクを変更するのは賢明な判断でした。</p> <p>H 指示の語彙は適切なレベルに保つようにしましょう。</p>
--	---

解答 7-C, 8-E, 9-A, 10-H, 11-G, 12-D, 13-B

TKT: モジュール 1,2,3 バンド評価記述文

原文 (英語) は www.cambridgeenglish.org/images/22185-tkt-band-descriptors.pdf をご覧ください

	モジュール 1: 英語の学習と指導に関する言語知識・背景	モジュール 2: 指導案作成と英語教授のための教材活用法	モジュール 3: 授業マネジメント
バンド 4	受験者は TKT モジュール1のシラバスの全領域(言語体系と言語学習の背景)について包括的で正確な知識を発揮している。TKT モジュール1でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは言語の記述、言語スキル、言語学習プロセスの要素、さまざまな指導法、言語教師が使うタスクやアクティビティに関連しているが、これについてよく理解している。受験者は クラスの状況をよく知っているよう が 知 るまいが、どんな状況であっても既存の知識を関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール2のシラバスの全領域(指導案作成と教材活用法)について包括的で広範な知識を発揮している。TKT モジュール2でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、指導案作成や教材の活用、教室で特定のアクティビティを行う理由、特定の教材を使う理由に関連しているが、これについてよく理解している。受験者は クラスの状況をよく知っているよう が 知 るまいが、どんな状況であっても既存の知識を関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール3のシラバスの全領域(授業マネジメント、学習プロセスの管理)について包括的で広範な知識を発揮している。TKT モジュール3でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、教師や学習者が授業で用いることば、学習を促進するために授業マネジメントに使えるオプションに関連しているが、これについてよく理解している。受験者は クラスの状況をよく知っているよう が 知 るまいが、どんな状況であっても既存の知識を関連づけることができる。
バンド 3	受験者は TKT モジュール1のシラバスの全領域(言語体系と言語学習の背景)について概ね包括的で正確な知識を発揮している。TKT モジュール1でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは言語の記述、言語スキル、言語学習プロセスの要素、さまざまな指導法、言語教師が使うタスクやアクティビティに関連しているが、これについてほとんど理解している。受験者は クラスの状況をよく知っているよう が 知 るまいが、どちらの状況であっても既存の知識を概ね関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール2のシラバスの全領域(授業計画と教材活用法)について概ね包括的で広範な知識を発揮している。TKT モジュール2でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、指導案作成や教材の活用、教室で特定のアクティビティを行う理由、特定の教材を使う理由に関連しているが、これについてほとんど理解している。受験者は クラスの状況をよく知っているよう が 知 るまいが、どちらの状況であっても既存の知識を概ね関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール3のシラバスの全領域(授業マネジメント、学習プロセスの管理)について概ね包括的で広範な知識を発揮している。TKT モジュール3でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、教師や学習者が授業で用いることば、学習を促進するために授業マネジメントに使えるオプションに関連しているが、これについてほとんど理解している。受験者は クラスの状況をよく知っているよう が 知 るまいが、どちらの状況であっても既存の知識を概ね関連づけることができる。
バンド 2	受験者は TKT モジュール1のシラバスの領域(言語体系と言語学習の背景)について基礎的な知識を発揮している。TKT モジュール1でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは言語の記述、言語スキル、言語学習プロセスの要素、さまざまな指導法、言語教師が使うタスクやアクティビティに関連しているが、これについていくらかは理解している。受験者は クラスの状況をよく知っている場合 は既存の知識を関連づけることができるが、 状況を知らない場合は時折 関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール2のシラバスの領域(指導案作成と教材活用法)について基礎的な知識を発揮している。TKT モジュール2でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、指導案作成や教材の活用、教室で特定のアクティビティを行う理由、特定の教材を使う理由に関連しているが、これについていくらかは理解している。受験者は クラスの状況をよく知っている場合 は既存の知識を関連づけることができるが、 状況を知らない場合は時折 関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール3のシラバスの領域(授業マネジメント、学習プロセスの管理)について基礎的な知識を発揮している。TKT モジュール3でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、教師や学習者が授業で用いることば、学習を促進するために授業マネジメントに使えるオプションに関連しているが、これについていくらかは理解している。受験者は クラスの状況をよく知っている場合 は既存の知識を関連づけることができるが、 状況を知らない場合は時折 関連づけることができる。
バンド 1	受験者は TKT モジュール1のシラバスの領域(言語体系と言語学習の背景)について限定的な知識を発揮している。TKT モジュール1でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは言語の記述、言語スキル、言語学習プロセスの要素、さまざまな指導法、言語教師が使うタスクやアクティビティに関連しているが、これについて限られた範囲で理解している。受験者は クラスの状況をよく知っている場合 にのみ、既存の知識を関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール2のシラバスの領域(指導案作成と教材活用法)について限定的な知識を発揮している。TKT モジュール2でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、指導案作成や教材の活用、教室で特定のアクティビティを行う理由、特定の教材を使う理由に関連しているが、これについて限られた範囲で理解している。受験者は クラスの状況をよく知っている場合 にのみ、既存の知識を関連づけることができる。	受験者は TKT モジュール3のシラバスの領域(授業マネジメント、学習プロセスの管理)について限定的な知識を発揮している。TKT モジュール3でテストされる広範な概念、専門用語、指導やプロセスは、教師や学習者が授業で用いることば、学習を促進するために授業マネジメントに使えるオプションに関連しているが、これについて限られた範囲で理解している。受験者は クラスの状況をよく知っている場合 にのみ、既存の知識を関連づけることができる。

